

今どきのひきこもりについて

～10代・20代のひきこもりについて考える～

事前
申込制
定員
120名

2024年 **10月27日** 日

13:00～16:00 (開場12:30)

会場：武蔵浦和コミュニティーセンター
サウスピア9階多目的ホール

入場
無料

第一部 「ひきこもりの理解と支援」

講師：原田 豊氏

(鳥取県立精神保健福祉センター所長)

ひきこもりや不登校の当事者や支援者家族のための講演や著作が多数あり、長年に渡り精神保健の現場から支援を続けていらっしゃいます。



第二部 「教育経験格差—不登校・定時制の「その後」に待ち受けるもの—

講師：藤井 健人氏

(文部科学省高等教育局国立大学法人支援課法規係)

不登校児から“文部科学省職員”へ転身されたご本人の体験をもとにお話しいただきます。



第三部 質疑応答

<対象> 市民、当事者そのご家族、教育関係者、医療・福祉・心理・行政関係者、学生等

お申込み

事前申込方法：埼精診ホームページ <https://saiseisin.org>

またはQRコードよりお申し込みください。

申込期間：9月1日～定員になり次第終了

申込QRコード



さいせいしん

検索

主催：一般社団法人 埼玉精神神経科診療所協会

共賛：公益社団法人 日本精神神経科診療所協会

後援：埼玉県・さいたま市・埼玉県医師会・埼玉県精神科病院協会

市民講座のご案内

埼玉精神神経科診療所協会（さいせいしん）は、埼玉県内のメンタルヘルスを支える診療所の集まりです。埼玉県民のこころの健康を促進する活動として、過去には依存症、周産期のメンタルヘルス、子どものこころ、神経発達症、死生観、ネット社会などをテーマに市民講座を開催してまいりました。今回の市民講座は、「今どきのひきこもり」をテーマにご講演いただきます。

私達の暮らす社会は「個人」「家族」「社会」によって構成されています。ひきこもり状態では、「個人」は「社会」との接点だけでなく、その中間にある「家族」との接点を失ってしまいがちになり、「家族」もまた「社会」との接点を失ってしまうことも少なくありません。ひきこもりは「個人」の問題と捉えがちですが、「家族」の問題でもあり、「社会」の問題でもあります。また、今どきのひきこもりは、以前のひきこもりとは、いろいろな面で変化してきております。

当日は、鳥取県立精神保健福祉センター所長の原田豊さんと、文部科学省職員の藤井健人さんからご自身の経験も踏まえてご講演をいただきます。

最後に会場の皆様からの質疑を踏まえてディスカッションを行う形式です。この市民講座が、ひきこもりの本人や家族、支援者のみなさまにお役に立つことを願います。

一般社団法人 埼玉精神神経科診療所協会

お問い合わせ

一般社団法人埼玉精神神経科診療所協会

〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和2丁目28-16
ハイグレード南浦和402

[TEL]048-767-6215 (火・木のみ)

[FAX]048-767-6216

[E-mail]saiseishin@saiseisin.org

さいせいしん

検索



〒336-0021 埼玉県さいたま市南区别所7丁目20-1
武蔵浦和コミュニティーセンター
サウスピア9F多目的ホール
武蔵野線武蔵浦和駅徒歩2分